

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

中学校

国語

一

令和3年3月改訂

はじめに

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校では、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成しました。これは、福岡県学校教育振興プラン（平成27年12月）において、「小学校中学年までの児童に対し、読解力と基礎的な計算能力の育成を中心とした取組等の強化を図る」とされていることに対応しています。

この度、中学校においては令和3年度から学習指導要領（平成29年告示）が全面実施となることを受けて、改訂を行いました。

本教材集は、大問（主に基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材）と小問（基礎基本の定着を図る教材）で構成しています。

大問については、指導計画に位置付けた次のような活用が考えられます。

- 授業の主教材として活用する。
- 適用問題や発展問題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

小問については、朝の活動や家庭学習等での次のような活用が考えられます。

- 朝の10分程度の時間で小テストやプレテストとして繰り返し活用する。
- 授業（教科書の内容）と関連付け、家庭学習課題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和3年3月

福岡県教育委員会

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

目次

1 一単位時間程度で活用する教材（大問）

① 立場を理解しながら、計画的に話し合う。 (話すこと・聞くこと)……………	2
② 経験したことや考えたことをもとに文章を書く。 (書くこと)……………	4
③ 登場人物の心情をとらえ、主題について考える。 (読むこと)……………	6
④ 文章や資料から読み取ったことをふまえて、自分の考えをもつ。 (読むこと)……………	8

大問①～④の出題の趣旨、正答について 10～13

2 10分程度の短い時間で活用する教材（小問）

① 全体と部分、事実と意見などの構成に気をつけて話す。 (話すこと・聞くこと)……………	14
② 話題や方向をとらえて効果的に話し合う。 (話すこと・聞くこと)……………	15
③ 適切な言葉つかいで、相手に応じて話す。 (話すこと・聞くこと)……………	16
④ 必要に応じて質問しながら聞く。 (話すこと・聞くこと)……………	17
⑤ 目的を明らかにして報告の文章を書く。 (書くこと)……………	18
⑥ 文章の構成や段落の役割を考えて書く。 (書くこと)……………	19
⑦ 資料から読み取ったことをもとに自分の考えを書く。 (書くこと)……………	20
⑧ 相手に配慮し、言葉つかいに気をつけて書く。 (書くこと)……………	21
⑨ 文脈にそって語句の意味や文章の内容を読み取る。 (読むこと)……………	22
⑩ 文章の構成をとらえ、筆者の考えを読み取る。 (読むこと)……………	23
⑪ 表現の特徴をとらえ、主題を読み取る。 (読むこと)……………	24
⑫ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読む。 (読むこと)……………	25

小問①～⑫の正答について 26～28

第一学年「めあて」立場を理解しながら、計画的に話し合う。

() 組 () 番 名前 ()

1 丁中学校の田中さんの学級では、「昼休みの体育館の使用について」というテーマで話し合うことになりました。次に示す話合いの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。

山本 (司会)

今、丁中学では、昼休みに体育館で遊ぶ人が多く、人やボールがぶつかってけがをするなどの問題が起きています。そこで、生徒会では、安全に体育館を使えるようなルールを作るため、各学級からルール案を募集することにしました。だけれか、よい案のある人は、発表してください。

田中

僕は、じゃんけんをして決めたらよいと思います。その日に体育館を使いたいグループの代表が、時間と場所を決めて集まり、じゃんけんをして決めるのです。

山本 (司会)

ア

まず、この方法なら、公平な結果が出るということです。じゃんけんの勝敗の確率は回数を増やしていくと、だいたいみんなが同じになるので、平等に遊べることになるはず。また、じゃんけんの勝ち負け自体にもおもしろさがあるので、昼休みの楽しさが増すと思います。

川口

ぼくは、曜日ごとに体育館を優先して使うグループを、あらかじめ決めたらよいと思います。じゃんけんで決めるという方法には、問題があります。だいたい公平な結果が出るということですが、一年間くらいで考えれば確かにそうなるでしょう。でも、週単位で考えると、月曜日から水曜日まで連続して同じグループが体育館を使うといったことが起こる可能性があり、不公平に感じる人もいるでしょう。曜日ごと



村田

に決めておく方法だと、確実に体育館を使うことができます。以上のような理由で、ぼくは、この方法のほうがよいと考えます。

昼休みの過ごし方についても考えてみたほうがよいのではないのでしょうか。私たちの学級では、体育館で遊ぶ人たちのグループと、教室でおしゃべりをして過ごす人たちのグループに分かれてしまつて、その両者の間の交流がなくなっているのが気になります。

山本 (司会)

イ

今の村田さんの発言は、重要な提案だと思えますが、そのため、その点については別の機会に話し合うことにしたいと思います。ほかに案のある人はいますか。案のある人は、ぜひ発言してください。……いないようですね。では、次に、この二つの案について質問のある人はいますか。

鈴木

川口さんに質問があります。体育館を使える曜日が祝日になる場合もあります。そんなときは、せっかく体育館を使える日なのに、体育館で遊べなくなってしまう。その場合、どうするのですか。……

問

アは、田中さんの発言を求める、司会の山本さんの言葉が入ります。

なぜ田中さんの発言を求めたのか、その理由を考えて書きなさい。

Blank box for writing the answer to the question.

第一学年「めあて」経験したことや考えたことをもとに文章を書く。

() 組 () 番 名前 ()

2 次を示すのは、田中さんが「中学一年生を振り返って」という題で文章を書いたときの【構成メモ】と【下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【構成メモ】

○ 部活動について(バスケット部)

- 部活動からいろいろなことを学んだ。
- 次の目標は、県大会の予選突破!

○ 学習について


- 特に英語をがんばりたい。

※理由①……海外旅行のときに役立つ。
↓留学もしてみたい!

※理由②……英語はこれから大切になる。
↓これからもっと国際化が進む?
↓英語が国際語

○ 結論

- これからも部活動や学習をがんばりたい。



・勝ったときみんなで涙した。
・つらくても、励まされて乗り越えた。集団競技のよさを実感!

【下書き】

私が中学生になって、「小学校時代とはちがう」と感じたことがあります。一つは、部活動です。私は、バスケット部に入りました。部活動を通じて、いろいろなことを学びました。だから、部の仲間やコーチの先生から、「しっかりあいさつしよう」と指導されて、これまで苦手だったあいさつを大きな声でできるようにになりました。もし、バスケット部に入らなかつたら、私は、まだあいさつが苦手なままだったことでしょう。また、チームプレーの練習を通じて、ほかの人と協力することの大切さを知りました。試合に

負けたときや練習がつかなくなったとき、励まし合える仲間がいなかったとしたら、すぐに辞めていた。

もう一つは、英語です。どの教科もまじめに学習することはもちろんですが、私は特に英語の学習に力を入れたと考えています。なぜなら、私は旅行が大好きで、いつかは海外旅行をしたいと思っています。そのときに、英語が話せると、とても役に立つはずですよ。また、これからの日本では、英語はとても大切になってくると思います。なぜなら、ア

これからも、部活動や、英語をはじめとするさまざまな学習に積極的に取り組んで、有意義な中学生生活を送りたいものです。

問1 田中さんは、【構成メモ】中の、部活動で学んだいろいろなこと、具

体例を【下書き】で二つ挙げています。その内容を書きなさい。

第一学年「めあて」登場人物の心情をとらえ、主題について考える。

() (組) () (番号前) ()

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」

洛陽に住む若者、杜子春は、鉄冠子という名の不思議な老人の弟子になつて仙術を習いたいと願う。老人は、峨眉山に杜子春を連れていき、仙人になりたければ、ここに座つて自分が戻るまで一言も口をきいてはいけないと告げ、その場を去る。峨眉山に住むという神将に鋒で突き殺されて地獄に落ちた杜子春は、閻魔大王に対しても口をきこうとしない。怒った閻魔大王は、地獄で馬の姿に変えられている杜子春の両親を連れてこさせ、「峨眉山にいた理由を白状しなければ、父母に痛い思いをさせてやるぞ」と言つて、鬼たちに杜子春の両親を鞭で打つように命じる。

鬼どもは一斉に「はっ」と答えながら、鉄の鞭をとつて立ち上ると、四方八方から二匹の馬を、未練未釈なく打ちのめしました。……中略……

杜子春は必死になつて、鉄冠子の言葉を思い出しながら、かたく眼をつぶっていました。するとその時彼の耳には、ほとんど声とはいえないくらい、かすかな声が伝わつて来ました。

「心配をおしでない。私たちはどうなつても、お前さえしあわせになれるのなら、それより結構なことはないのだからね。大王が何と仰つても、言いたくないことは黙つておいで」

それはたしかに懐しい、母親の声に違いありません。杜子春は思わず、眼をあきました。そうして馬の一匹が、力なく地上に倒れたまま、悲しそうに彼の顔へ、じつと眼をやっているのを見ました。母親はこんな苦しみの中にも、息子の心を思いやつて、鬼どもの鞭に打たれたことを、怨む気色さえも見せないのです。大金持になればおせじを言い、貧乏人になれば口も利かない世間の人たちに比べると、何というありがたい志でしょう。何という健気

な決心でしょう。杜子春は老人の戒めも忘れて、転ぶようにその側へ走りよると、両手に半死の馬の頸を抱いて、はらはらと涙を落しながら、「おっ母さん」と一声を叫びました。……………

その声に気がついて見ると、杜子春はやはり夕日を浴びて、洛陽の西の門の下に、ぼんやりたたずんでいるのでした。かすんだ空、白い三日月、絶え間ない人や車の波、——すべてがまだ峨眉山へ、行かない前と同じことです。「どうだな。おれの弟子になつたところが、とても仙人にはなれはすまい」片目眇の老人は微笑を含みながら言いました。

「なれませんが、なれませんが、しかし私はなれなかったことも、反つてうれしい気がするのです」

杜子春はまだ眼に涙を浮べたまま、思わず老人の手を握りました。

「いくら仙人になれたところが、私はあの地獄の森羅殿の前に、鞭を受けている父母を見ては、黙っている訳には行きません」

「もしお前が黙っていたら——」と鉄冠子は急に厳かな顔になつて、じつと杜子春を見つめました。

「もしお前が黙っていたら、お前は即座にお前の命を絶つてしまおうと思つていたのだ。——お前はもう仙人になりたいという望も持つていない。大金持になることは、元より愛想が付きたはずだ。ではお前はこれから後、何になつたらいいと思うな」

「何になつても、人間らしい、正直な暮しをするつもりです」

(芥川龍之介『杜子春』より)

※1「洛陽」……中国の都市。

※2「峨眉山」……中国の山。

※3 「神将」……天の世界の将軍。

※4 「閻魔王」……地獄の王。

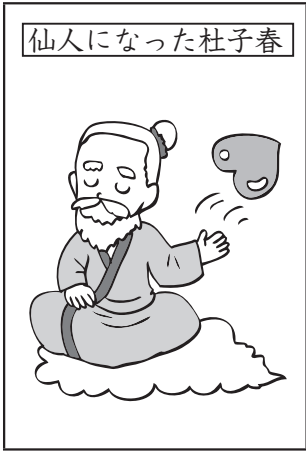
※5 「片目眇」……片目が斜視しゃしであること。 ※6 「森羅殿」……地獄にある建物の名。

問1 「おっ母さん」と一声を叫びました。とありますが、このときの杜子春の気持ちについて、石田さんは次の□のように考えました。石田さんが指摘しってきした次の気持ちとは別に、杜子春のどんな気持ちが考えられるか、あなたの考えを書きなさい。

自分のために苦しんでいる母親をかわいそうに思う気持ちや、すまないと思う気持ち。

問2 私はなれなかったことも、反ってうれしい気がするのです。とありますが、この言葉について考えたことを、石田さんは二枚のイラストに描き、山本さんはメモにまとめました。これらについて、あとの①・②の問いに答えなさい。

【石田さんの描いたイラスト】



【山本さんのメモ】

「私はなれなかったことも、反ってうれしい気がするのです」

疑問

なぜ、そう言ったのか？



□Aよりも、人間らしい、正直な暮らしをする方がよいと考えたから。



□Bを大切にしたい。

① 【山本さんのメモ】の中の□Aにあてはまる内容を、十五字以上、二十字以内で書きなさい。

15	
20	

② 【石田さんの描いたイラスト】の中の♡が表す内容と、山本さんのメモの中の□Bにあてはまる内容は、同じです。その内容を表す言葉を、「親子」「人間」という二つの言葉を使って、十五字以上、二十字以内で書きなさい。

15	
20	

《大切なこと》

主題を読み取るには……

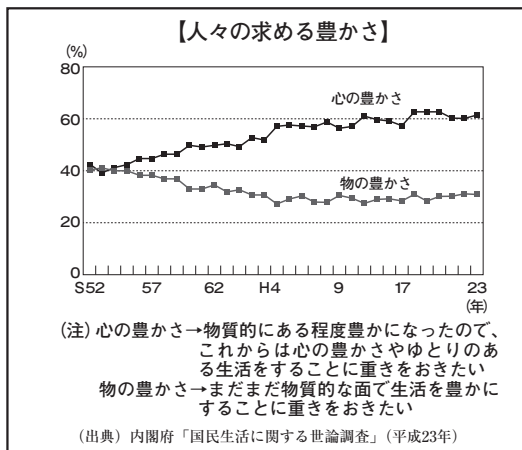
- 主人公・登場人物が最後にたどりついた心情に着目する。
- 主人公・登場人物の行動に着目し、その意味を考える。
- 主人公・登場人物の心情の変化の過程を整理する。

第一学年「めあて」文章や資料から読み取ったことをふまえて、自分の考えをもつ。

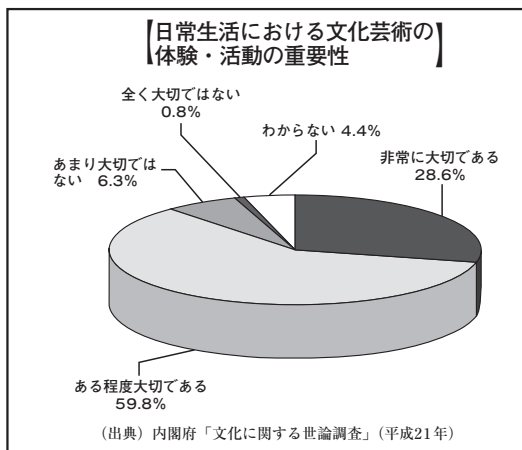
() (組) () (番号前) ()

4 上村さんは、日本人の「心の豊かさ」について調べました。次の【資料1・2】と、【資料】についての上村さんのメモ、および【新聞の投書の文章】について、あとの問いに答えなさい。

【資料1】



【資料2】



【資料】についての上村さんのメモ

〈資料から読み取れること〉

資料1

「これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」と考える国民の割合は、昭和52年の約4割から、平成23年には約 へ増加している。

*心の豊かさやゆとりのある生活を求める人が増えている。

資料2

文化について「大切」と考える国民の割合。

「非常に大切」+「ある程度大切」→約 。

【新聞の投書の文章】(1)・(2)は、段落番号である。

1 私は、日本人ほど、文化や心の豊かさを重視しない国民は少ないのではないかと、思う。ヨーロッパの国々では、地方の小都市にもオペラハウスがあり、市民は伝統的な文化を楽しむことができるという話を聞いたことがある。ヨーロッパのオペラにあたるのは、日本では能や歌舞伎といったところだろうか。残念ながら、日本の地方の小都市には、これらを生で楽しむ設備は、ほとんどないようだ。なぜか。それは、日本人の多くが、そうした文化に関心を持っていないからだろう。つまり、心の豊かさを求める気持ちが弱いのだ。むしろ、マンガやアニメなどは世界に誇るべき日本の文化ではないか、という意見もあるだろうが、全体的には、国民が豊かな心を持ち、ゆとりをもって文化を楽しんでいるとは言えない状況だ。

2 しかし、周囲の状況に文句を言っただけで始まらない。国民の一人一人が、自分の力で文化を求めていけばよいのだ。そこで、私はもう六十歳だが、自分で古文の勉強を始めることにした。今は、『徒然草』に挑戦している。正直なところ、なかなかすらすらとは意味をとることができない。中学・高校のときに、もっと古文の勉強をしていればよかったと、後悔することしきりである。だが、少しずつ読み進めていくうちに、だんだんと面白みが増してくる。ささやかな体験だが、こうした国民一人一人の主體的な活動の積み重ねが、日本を真に文化的な国にすることにつながっていくのだと思う。

大問1～4の出題の趣旨、正答

□ P.2・3

1 出題の趣旨

○ 有効な話し合いを行うためには、テーマ（話題や方向）をふまえた上で自分の意見を発言し、また、必要な点については質問をしながら相手の意見を聞いて、自他の意見の相違点や共通点を整理するといった力が必要である。そこで、話し合いを有意義にするための知識や技能を身につけさせるため、身近な話し合いの場面を設定し、出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) その方法をよいと思う理由が述べられていないから。()

○ 解説

田中さんの提案には、その理由・根拠、あるいは、よい点などが説明されていなかったため、その点を指摘していればおおむね満足な状況とする。必要に応じて発言者に適切に質問することは、自分と相手の意見の共通点や相違点を整理することにつながる。ここでは、司会者が発言者に説明を促すことが、質問と同じ効果を持っている。(第1学年 話すこと・聞くこと エ)

問2

○ 正答

イ・エ (順不同)

○ 解説

この問題では相手の意見と自分の意見との相違点をふまえた上で、自分の意見を構成する力を問うている。(第1学年 話すこと・聞くこと

エ)

問3

○ 正答

(例) 今日の話し合いのテーマからずれています。()

○ 解説

話し合いのテーマ（話題）をふまえた上で、発言者の発言内容に注意し、話し合いを目的の方向に進めようとする司会者の役割について問うた問題である。(第1学年 話すこと・聞くこと オ)

問4

○ 正答

ア・エ (順不同)

○ 解説

話し合いをスムーズに進めるため、司会者が果たすべき具体的な役割について問うた問題である。有意義な話し合いをするために、具体的にどんなことが必要かを考えさせたい。(第1学年 話すこと・聞くこと オ)

問5

○ 正答

(例) それでは、曜日を固定するのではなく、体育館を使うグループの順番を決めておくという方法に修正したいと思います。そうすれば、祝日がある場合にも、次の日にずらしていけばいいわけです。(八十八字)

○ 解説

鈴木さんの質問で提示された問題点が解決できる案が書かれていればおおむね満足な状況、さらに、実際に話し合いで発言するような言葉づかいで書かれていれば、十分満足な状況とする。

相手の発言を注意して聞いた上で、問題点を理解し、自分の考えを深め、構成し、まとめる力を問うた問題である。(第1学年 話すこと・聞くこと エ・オ)

1 出題の趣旨

○ 文章によって事実や事柄、またそれについての考えや気持ちを効果的に伝えるためには、段落構成を考えた上で根拠を明確にして書くこと、適切な言葉を選択してわかりやすく書くこと、正しい表記で書くことなどが求められる。以上のような技能を養い、定着させるために出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) ・大きな声であいさつすることの大切さ。

・ほかの人と協力することの大切さ(を知った)。

○ 解説

「あいさつ」「協力」の二つの例に沿った内容が書かれていれば、十分満足な状況とする。

自己の体験は、具体的に書いたほうが説得力が増すことに注意を向けたい。(第1学年 書くこと イ)

問2

○ 正答

記号…エ

理由…(例) 前で述べた内容について、あとで具体的な例を述べる場合には、「たとえば」という言葉を使うのが最も適切だから。

○ 解説

「たとえば」が、具体的な内容を述べる場合に使う言葉であることを指摘していれば、十分満足な状況とする。接続語を適切に使うことの効果について考えさせたい。(第1学年 書くこと エ)

問3

○ 正答

(例) 前に「いなかったとしたら」と、仮定の条件で書かれていたから。

○ 解説

文の呼応の問題。仮定の条件の言葉があることを理由としていければ、おおむね満足な状況とする。(第1学年 書くこと エ)

問4

○ 正答

(例) これからの時代、外国人との交流がさらに盛んになると思われますが、そのとき使われる言葉は、主に英語だからです。(五十四字)

○ 解説

【構成メモ】の中の内容をふまえ、考えた理由が、適切な表記・言葉づかいで書かれていればおおむね満足な状況とする。その理由が、今後の国際化などから見ると普遍性を持つ内容であれば、十分満足な状況とする。(第1学年 書くことウ・オ)

1 出題の趣旨

○ 文学的文章を読むにあたっては、文脈をたどりながら、場面の展開、登場人物たちの心情や、その変化、情景描写などに注意して、作者の訴えようとした主題をとらえることが求められる。また、そうして読み取った作者のものの見方や考え方について、自分なりの考えをもつことが望ましい。そうした力を身に付けさせるための出題である。また、伝統的な言語文化に親しむための一歩として、やや古風な趣のある本作品を素材とした。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) 自分のしあわせを願ってくれる母親に感謝する気持ち。

(例) 自分はどうなっても杜子春だけは幸せになって欲しいという母への感謝の気持ち。

○ 解説

この場面での杜子春の心情は、非常に複雑なものであると考えられる。さまざまな思いが、「おっ母さん」という一言にこめられているのである。その中には、石田さんが指摘したように「自分のために苦しんでいる母親をかわいそうに思う気持ちや、すまないと思う気持ち」もあると考えられるが、同時に「私たちはどうなっても、お前さえしあわせになれるのなら、それより結構なことではないのだからね。」と言って、自分の幸福よりも息子の幸福を願ってくれる母の愛情への感謝の気持ちも含まれていると見るべきである。

母親が、杜子春の「しあわせ」を願っている点と、その母の愛に対する杜子春の感謝について述べていけば、十分満足な状況とする。(第1

問2

①

○ 正答

(例) 苦しんでいる両親を見捨てて仙人になる(十八字)

○ 解説

イラストやメモの内容と文章との関連をとらえられるかどうか、会話から登場人物の考えをおしはかれるかどうかを見るための設問である。仙人になれなかったことがうれしいという杜子春の考えの理由が、「いくら仙人になれたところが、私はあの地獄の森羅殿の前に、鞭を受けている父母を見ては、黙っている訳には行きません」という言葉に表れており、その内容を的確に要約できていけば、十分満足な状況とする。(第1学年 読むこと イ・ウ)

②

○ 正答

(例) 親子の自然な情愛などの人間らしい心(十七字)

○ 解説

イラストやメモの内容と文章との関連をとらえられるかどうか、それらを手がかりに主題を読み取ることができかどうかを見るための設問である。イラストやメモから、もし杜子春が仙人になったとしたら何を失ってしまったのかを考える。「私はあの地獄の森羅殿の前に、鞭を受けている父母を見ては、黙っている訳には行きません」、「人間らしい、正直な暮しをするつもりです」という二つの杜子春の言葉を総合して、「親子」「人間」という言葉を使い、「親子の自然な情愛などの人間らしい心」といった形でまとめることができているならば、十分満足な状況とする。(第1学年 読むこと イ・オ)

1 出題の趣旨

○ 資料から読み取った内容を、他の文章の内容と照らし合わせ、比較・検討する力は、実生活における情報の活用という視点から見て、きわめて重要な能力である。また、資料や文章から読み取った内容をもとに、自分なりの考えを持ち、それを広げ、深めていくことも求められる。これらの力を身につけさせるための出題である。

2 正答について

問1

○ 正答

A ア B エ

○ 解説

資料を読み解く力を身につけさせるための出題である。細かな数値を正確に読むことも重要だが、まずは、おおまかな傾向をつかむことの大切さを重視したい。【資料1】では、心の豊かさやゆとりのある生活を重視する人の割合の変化、【資料2】では、文化について「非常に大切」「ある程度大切」と考える人の合計をとらえてそれが約何割になるかを気づかせ、全体的に「文化を大切と考える人」の割合が高いことに着目させたい。(第1学年 読むこと ウ)

問2

○ 正答

(例1) 〈強化する意見〉

【資料1】から、心の豊かさやゆとりのある生活を大切にしている国民が以前より増えたといっても六十%しかないことが読み取れる。また、【資料2】から、文化芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行ったりすることを大切だと考える国民は多いのだが、「非常に大切である」と考え

る国民の割合が三十%未満でしかないことが読み取れる。したがって、「日本人は、文化や心の豊かさを重視しない国民である。」という筆者の主張は、現実に合わせている。

(例2) 〈反論する意見〉

【資料1】から、心の豊かさやゆとりのある生活を大切にしている国民が増加していることが読み取れる。また、【資料2】から、文化芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行ったりすることを大切だと考える国民の割合が高いことが読み取れる。したがって、「日本人は、文化や心の豊かさを重視しない国民である。」という筆者の主張は、現実に合わせているとは言えない。

○ 解説

資料から読み取った内容と文章の内容とを照らし合わせ、比較・検討する力を身につけさせるための問題である。新聞の投書の文章の段落について、中心的な主張と付加的な部分を読み分けた上で、筆者が「日本人は、文化や心の豊かさを重視しない国民である。」と主張していることを読み取っており、かつ、二つの資料から読み取れることを根拠にして書いていけば、十分満足な状況とする。(第1学年 読むこと オ)

問3

○ 正答

(例) 国民が、能や歌舞伎などの伝統的な文化を、ゆとりをもって楽しむという心の豊かさをもっている国のこと。(四十九字)

○ 解説

まず文章から文脈を読み取った上で、条件に合わせて解答することを目的とした出題である。□段落でヨーロッパと比較しているのがどういふことかを読み取り、適切な文章で述べられていけば、十分満足な状況とする。(第1学年 読むこと ア・オ)

第一学年【めあて】話題や方向をとらえて効果的に話し合う。

() (組) () (番) (名前) ()

2 次に示すのは、前川さんの学級で十二月に行われた話合いの場面です。この話合いでは、二学期を終えるにあたっての「二学期の学校生活のまとめ」がテーマになっていて、前川さんは、司会を務めています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

前川 わが校では、学期ごとに学校生活のまとめを、学級で行うことになっていきます。一学期は、学校行事を振り返った壁新聞をみんなで作りました。二学期は、何をしたらよいか。みなさんの意見を聞きたいと思います。だれか、意見のある人は、いませんか。

平野 はい。私は、学級の人全員に、心に残った学校での活動について作文を書いてもらって、学級文集を作るのがよいと思います。一学期に壁新聞を作ったときに感じたのですが、壁新聞では、紙面に限りがあり、学級の一人一人の考えを平等に反映させることができません。全員がそれぞれ作文を書けば、一人一人の思いを大切にすることができます。

前川 確かに学級文集なら、学級全員がそれぞれ書いてよいですね。ほかに意見のある人は、いませんか。

村山 はい。平野さんは、全員に作文を書いてもらうという意見ですが、その作文は、どのくらいの字数のものを考えているのですか。また、その文集は、一冊だけ作るのですか。それとも、コピーをして、全員に一冊ずつ行き渡るようにするのですか。

前川 村山さん、ちょっと待ってください。

村山 わかりました。では、私の意見を言います。私は、二学期も、一学期と同じように壁新聞を作るのがよいと思います。学級が一丸となって一つのものを作り上げることに、大きな意味があると考えています。

問1 前川さんの――の発言には、話合いを進める上で、どのようなねらいがありますか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 出された意見の短所を指摘し、よりよい発言が出るように進行しようとしている。
- イ 出された意見の長所を評価し、話合いをまとめようとしている。
- ウ 話合いのテーマを再度提示して、ほかの意見がないか、発言を促している。
- エ 発言に賛同しながらも、公平な進行となるように、ほかの意見についての発言を促している。

問2 前川さんは、司会者として話合いの進行のため――の部分でどんな発言をしたと考えられますか。発言内容を、実際に発言する言い方で書きなさい。

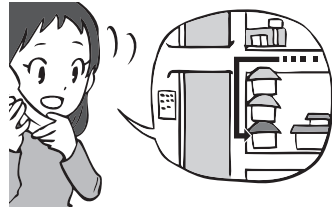
第一学年「めあて」適切な言葉づかいで、相手に応じて話す。

() (組) () (番号前) ()

3 綾子あやこさんの家にピアノ教室の先生が訪ねてくることになりました。次に示すのは、綾子さんと先生との電話での会話と、それに続く綾子さんと綾子さんの父親との会話です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

綾子 ……はい。楽しみにしています。道順ですか。

はい、今から説明いたします。○○鉄道のK駅には、西口と東口があります。西口から出て最初の交差点を右に曲がります。……ええ、右です。そのまましばらく歩いて、信号の数を数えてください。五分くらい歩く間に、信号が三つあります。その三つ目の信号を、今度は左に曲がってください。……はい。その信号のところには、コンビニエンスストアがあります。すると、右手は川で、左手に家が並んでいます。三軒目の家が私の家です。はい。六時ですね。お待ちしています。お父さんも、先生にお会いするのを、とても楽しみにしていると書いていました。……はい、では、失礼します。



お父さん ……電話を切る……)

綾子 そうよ、お父さん。先生も楽しみにしていると言っていたわ。当日は、この間の演奏会のビデオも持ってきてくださるんですって。

お父さん そうかい、それは楽しみだね。

綾子 ええ。それに、私の練習も見えていただけるみたい。当日まで、もつと練習しておかなくちゃ。

問1 ……はい。とありますが、綾子さんは、ピアノの先生からの質問を受けています。ピアノの先生からは、どんなことについて質問されたと考えられますか。「……ことについて。」という形で書きなさい。

ことについて。

問2 お父さん とありますが、これは目上の人と話すときの敬語の使い方としてふさわしくありません。ふさわしい言葉に書き直しなさい。

問3 楽しみにしていると言っていました・楽しみにしていると言っていたわ とありますが、先生と話す場合と、お父さんと話す場合としてふさわしい言い方を、それぞれ書きなさい。

先生と話す場合

お父さんと話す場合

第一学年【めあて】必要に応じて質問しながら聞く。

() (組) () (番) (名前) ()

4 一年生の中村さんが所属する生物部では、地域で開かれる自然体験活動に参加することになりました。次に示すのは、中村さんが自然体験活動で行う昆虫採集の計画について、ほかの部員に説明している場面です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

中村 これから、九月八日の日曜日に行く自然体験活動について説明します。この活動は、「川にすむ昆虫を知ろう」というテーマで、A川で昆虫採集をします。そのうち、観察に必要な昆虫については、持ち帰ることができませんので、部室に持ち帰り、飼育することになります。集合時刻は、午後一時。集合場所は、B駅の東口広場です。顧問の田中先生が同行されますので、部室の鍵は田中先生にお願いいたします。採集のための捕虫網やバケツなどの道具は、貸していただけるので、持ってくる必要はありません。ただ、川の石などでけがをしないよう、各自ゴム手袋を持参して下さい。私からの説明は、以上です。

川口 はい。

中村 すでに用事が決まっている人は、参加できなくてもかまいません。ただ、二学期の活動のスタートにあたる行事なので、できるだけ参加するようにしてください。

山田 一時集合ということですが、解散は、何時の予定ですか。

中村 説明し忘れていました。解散時刻は、午後四時の予定です。活動は三時で終了なので、三時半には学校に戻り、部室で簡単な反省会をして、解散する予定です。ほかに、なにか質問はありませんか。



問1 川口さんは、の部分で、どんな質問をしたと考えられますか。実際に質問する言い方で書きなさい。

問2 説明し忘れていました。とありますが、こうしたことをなくすために、中村さんはどんなことをしたらよかったと思いますか。あなたの考えを「……こと。」という形で書きなさい。

問3 中村さんの説明を聞いて、あなたならどんな質問をしますか。川口さんと山田さんとは別の内容の質問で、事前に確認しておくべき内容を考えて、実際に質問する言い方で書きなさい。

第一学年【めあて】文章の構成や段落の役割を考えて書く。

6 次に示すのは、「自分でできるエコ活動」という題で作文を書くことになった山下さんが作った【構成メモ】と、それにそって書いた【作文の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点をふくむ)

【構成メモ】

書き出し…自分でできるエコ活動もある。

活動①…電気の使用量の節約。エアコンをつけるのは、居間だけ。

活動②…ペットボトルは使わない運動。(水筒すいどうを持ち歩く)

↓家族に広がる。

まとめ…エコ活動は簡単。できることから始める。エコ活動のすすめ。

【作文の下書き】(①～③は 段落番号である。)

① 「エコ活動」というと大変なことのようだが、自分でできる簡単なものもたくさんあるのではないか。電気の使用量を節約するために、私の家では、夏休みの間、昼間にエアコンをつけるのは居間だけにするとというルールを作った。以前は、私と弟がいっしょに使っている子供部屋でもエアコンをつけていたのだが、勉強も居間のテーブルでやることにして、気温の上がる日中、子供部屋ではエアコンは使わないことにしたのだ。その結果、それまでの夏とくらべて電気代も一割以上節約できた。

② また、私は三か月ほど前から、「ペットボトルは使わない運動」を始めた。ペットボトルのリサイクルもエコ活動と言えるが、もともとペットボトルを使わなければ、リサイクルの必要もなくなる。私は、ペットボトルの飲み物は買わないことに決め、外出のときも水筒にお茶を入れて持ち歩くことにした。この運動は、家族の間に広まって、最近の我が家では、ペットボトルを使うことが、ほとんどなくなった。

③ このように、

() (組) () (番 名前) ()

問1 ①段落をさらに二つの段落に分けるとしたら、後半はどこから始まりませんか。最初の五字を書き抜きなさい。

問2 【作文の下書き】の文章中には、【構成メモ】に書かれていない内容を含む一文があります。それを探して、最初の五字を書き抜きなさい。

問3 □の部分には、【構成メモ】の「まとめ」にあたる文章が入ります。あなたなら、どのようにまとめますか。「自分でできるエコ活動」という言葉と「まとめ」に書かれている内容を使って、「このように、」のあとに続くように、あなたの考えを書きなさい。

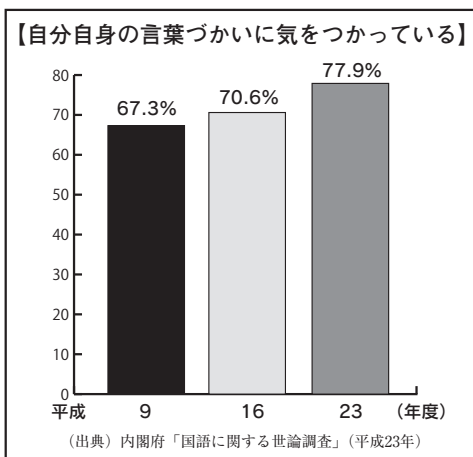
このように、	
--------	--

第一学年「めあて」資料から読み取ったことをもとに自分の考えを書く。

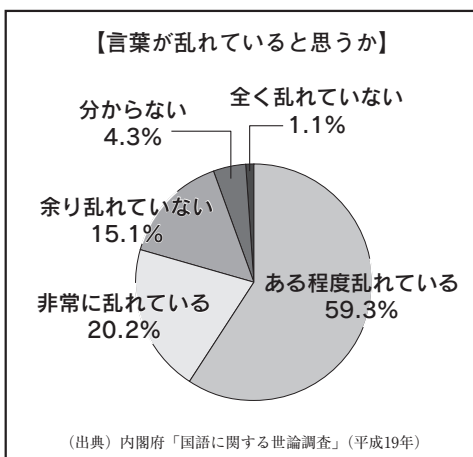
() (組) () (番号前) ()

7 山本さんの班では、次の【資料A・B】をもとに、「言葉」について話し合い、各自その内容を文章にまとめることにしました。次は、その話し合いの一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料A】



【資料B】



【話し合いの一部】

田中 資料Aから、言葉づかひに気がつかっている人が、平成九年度から平成二十三年度にかけて増え続け、八割近くにもなっていることがわかるね。

川口 でも、資料Bを見ると、言葉が乱れていると思う人の割合が、「非常に乱れている」、「ある程度乱れている」を合わせると、約八十パーセントになっているわ。この二つは矛盾してないかしら。

山本 そうとも言えないよ。

竹下 なるほど。どちらの資料も、言葉に対する意識の高まりを表しているというわけね。

問1 矛盾してないかしら とあるが、なぜこの二つの資料が矛盾していると考えられるのか。説明しなさい。

--	--	--

問2 には、資料Aと資料Bが「矛盾してない」、という立場の考えが入ります。どのような文章が考えられますか。山本さんになつたつもりで三十字以上、四十字以内で考えて書きなさい。

--	--	--	--

第一学年【めあて】相手に配慮し、言葉づかいに気をつけて書く。

() (組) () (番号前) ()

8 中村さんは、夏休みに親戚のおばさんの家に一週間滞在しました。次に示すのは、中村さんが九月十二日におばさんにあてて書いたお礼の手紙の下書きです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

拝啓 朝夕、めっきり涼しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

* 夏休みには、一週間もおじやまして、たいへんお世話になりました。その間、畑の手伝いをしたこと、近くの川でザリガニを取ったこと、どれもふだんはできない体験だったので、とても楽しく、良い思い出になりました。ありがとうございます。おみやげにいただいた野菜は、家族みんなで、おいしく召し上がりました。特にあの大きなトマトは、太陽のような味がして本当においしかったです。

A また、おばさんに会えるのを、楽しみにしております。

九月十二日

B 中村健一

中村明子様

問1 Bには、頭語の「拝啓」に対応する結語があてはまります。ふさわしい結語を漢字二字で書きなさい。

問2 下書きを読みなおした中村さんは、召し上がりましたを別の言葉に書きかえた方がよいと思いましたが、適当な言葉に書きかえなさい。

問3 中村さんは、この手紙を受け取ったおばさんがもっと読みやすいように、*印の部分を二つの段落に分けようと思いましたが、どこで分けるのが最も適当ですか。後半の段落の最初の五字を書き抜きなさい。

問4 中村さんは、Aに、おばさんの都合を配慮した上で、「また行きたい」という気持ちを表す文を書き加えようと考えました。あなたならどのように書きますか。考えて書きなさい。

第一学年「めあて」文脈にそって語句の意味や文章の内容を読み取る。

() (組) () (番号前) ()

9 次に示すのは、ハチドリという非常に小さい鳥について述べた文章です。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

鳥は我々と同じく、温血動物つまり恒温動物である。体温は外気と関係なく一定に、しかも人間などより高く、四十度近くに保たれており、それが保てなくなったら、人間が凍死するときと同じように死んでしまう。ところが、体がこんなに小さくなると、体積に比べて、体の表面積が著しく大きくなる。つまり、体温を保つのに必要な熱を発生する体の大きさのわりに、熱が逃げてゆく表面が大きすぎるのである。そこで、ハチドリが生きてゆくのに必要な体温を保つには、体表から逃げてゆく熱を絶えず補っていなくてはならない。さもないと、体温はたちまち下がってしまう。

ハチドリは熱帯にいるから、そんなことはないだろうと思う向きもあるかもしれない。しかし、実際にハチドリの「経営状態」、つまり食べたもの(収入)と体温保持のための熱発生(支出)との収支決算を調べてみると、恐るべき自転車操業であることが分かる。入るそばから支出されてゆき、やっと収支が償われているのである。収入が断たれたら、数時間ならずして倒産してしまふ。つまり、食物を食べるのをやめたら、たちまちにして熱発生が止まり、体温が降下して、飢え死にというより凍死してしまふのである。

ハチドリも鳥である以上、夜は木の枝に留まって眠るほかはない。毎日十二時間近い間、断食するわけである。本来なら、この長い絶食期間は、エネルギーの蓄えを尽き果てさせ、体温降下と凍死を招くはずである。

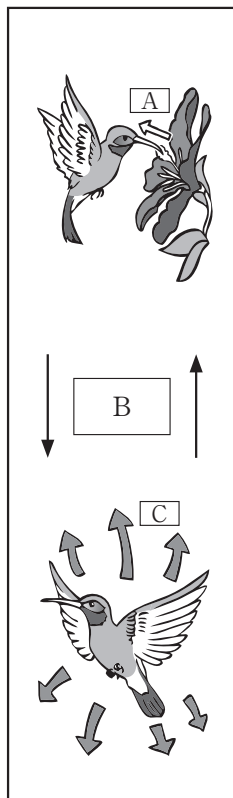
それにもかかわらずハチドリは、何万年という単位の長い年月にわたってちゃんと生きている。なぜか。

その訳は彼らが毎晩冬眠に入るからである。毎晩冬眠するというのはいささか奇妙ではあるけれども、事実そうとしかいいようがない。熱帯の夜は決して暑くない。少なくとも、東京の夏の夜のように暑いことなどはなく、気

温は二十度を割ることさえあるという。ハチドリは、夜が来ると、温血動物であることをやめる。体温調節という小細工をやめて、昆虫や爬虫類のような冷血動物(変温動物)になってしまうのだ。

(日高敏隆『ハチドリの不思議』より)

問1 この文章では、ハチドリの体におけるエネルギーや熱の動きを、会社などの経営にたとえて述べています。このたとえに合わせて考えるとき、次の図の[A]~[C]にあてはまる最も適当な言葉を、あとのア~エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。



ア 収入 イ 支出 ウ 倒産 エ 自転車操業

C B A

--	--	--

問2 何万年という単位の長い年月にわたってちゃんと生きています。なぜかとありますが、ハチドリが絶滅しないのはなぜですか。「冷血動物」「エネルギー」という言葉を使って二十五字以上、三十五字以内で書きなさい。

25									
35									

第一学年「めあて」文章の構成をとらえ、筆者の考えを読み取る。

() (組) () (番号前) ()

10 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(1)～(4)は、段落番号である。)

① 鍛冶職人の家に生まれて子供のころから鉄に親しみ、鍛冶を手伝った白鷹さんは、家業を手伝うかわらで大学の通信教育で学び、その後東京の日本橋の有名な刃物店で働きながらも、大学の夜間部に通うほどの努力家であった。そこでいろいろな刃物の研ぎ方を身につけ、鉄についてさらに学んだ。どのようにすれば千年の寿命をもたせることができるのか。困難ではあるが、そういう釘を自分の手で打とうと白鷹さんの挑戦が始まった。頼りにできるのは、これまでの経験と知恵だけであった。

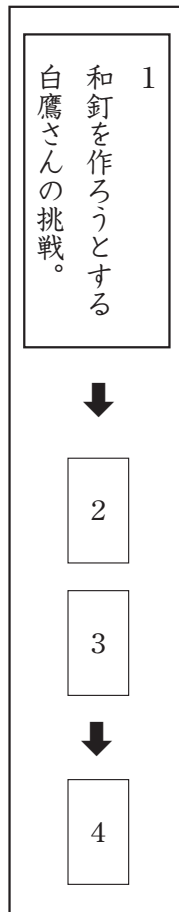
② 和釘には三十センチもの長い釘がある。ただじょうぶでありさえすればいいのなら、釘を太くすればいいが、それでは木が割れてしまう。木が割れないように、しかも長い歳月を経ても緩んだり抜け出したりしないように工夫しなければならぬ。白鷹さんは手もとにある古代の和釘を分析しながら、素材、形状、鍛造の方法などさまざまな角度から研究を重ねた。

③ 例えば、釘の中間より頭に近い部分と先に近い部分とをそれぞれ少しだけ細く作るという工夫がある。そうすると、打ち込んだあとで木に締めつけられて抜け出せない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。

④ このようにして作り上げた白鷹さんの和釘がどんなに優れたものかを実証する様子を、わたしはテレビで見ている。長い和釘を、フシのある太い柱に打つ。釘が硬すぎればフシをぶち抜いて木が割れる。そうかといって軟らかすぎるとフシに当たったところでは進めず折れ曲がってしまう。ところが白鷹さんの釘は、打ち込んだあとで柱を切断してその断面を見ると、フシまで直進したあとフシの周囲を巻くように曲がりながら先に進んでいた。木を割らず、しかも釘の役割をきちんと果たしている。いわば木に優しい釘であった。

(小関智弘『ものづくりの知恵』より)

問1 次に示すのは、この文章の構成を図にしたものです。2)～(4)にあてはまる内容を、あとのア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。



- ア 工夫された和釘の具体例。
- イ 白鷹さんの作った優れた和釘。
- ウ 和釘を作るのに工夫が必要な理由。
- エ 和釘を作ることの具体的な欠点。

2

3

4

問2 このようにして作り上げた白鷹さんの和釘とありますが、筆者は白鷹さんの作り上げた和釘を、どのようなものだと述べていますか。「役割」という言葉を使って、二十五字以上、三十字以内であなたの考えを書きなさい。

25			
30			

第一学年「めあて」場面の展開や登場人物の描写に注意して読む。

12 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」十一歳の「私」は、万年筆をもらったことがきっかけで、字を書くことに夢中になった。

書き物に対する態度が、他の大人と唯一違っていたのがキリコさんだった。干渉しない点については同じだが、彼女は明らかにこの作業を、勉強とは違う種類のものとして認めていた。敬意さえ払っていたと言ってもいい。

子供部屋やダイニングテーブルで作業に熱中している私を見つけると、一瞬キリコさんは立ち止まり、姿勢をただし、邪魔しないように注意を払いながら通り過ぎた。あるいはおやつを運んでくる時は、不用意にノートの中身に目やうて盗み見していると誤解されないよう、気を使っているのが分かった。自分の手元に視線を落とし、一切声は掛けず、ノートからできるだけだけ遠いところにジュースを置いた。コップに付いた水滴で、ページが濡れてはいけなと思ったからだろう。

やがて私は他人の文章を書き写すだけでは満足できなくなり、作文とも日記ともお話ともつかないものを書き付けるようになった。クラスメイト全員の人物評、一週間の食事メニュー、百万円あったら買いたい品物のリスト、テレビ漫画の予想ストーリー、自分の生いたち・みなしご編、無人島への架空の旅行記。とにかく、ありとあらゆるものだった。

今日は何も書くことがないという日は、一日もなかった。キャップさえ外せば、万年筆はいつでも忠実に働いた。

だから初めてインクが切れた時は、うろたえた。「どうしよう、万年筆が壊れちゃった」

私は叫び声を上げた。(小川洋子『キリコさんの失敗』より)

() (組) () (番号前) ()

問1 文章中の「で囲んだ」子供部屋や……思ったからだろう。」の部分から、キリコさんのどんな様子が読み取れますか。第一段落の言葉を使って、簡潔に書きなさい。

--	--

問2 叫び声とありますが、この表現から「私」のどんな気持ちを読み取れますか。「万年筆」「書き物」という言葉を使って、あなたの考えを四十字以上、五十文字以内で書きなさい。

50	40								

小問①～⑫の正答

【話すこと・聞くこと】

① P. 14

(例) あいさつは、した自分もされた相手も、お互い^{たが}が気持ちよくなる習慣です。しかし、二学期に入ってからみんなが慣れてしまったためか、あいさつが少なくなりました。この現状を改善するための具
体案としては、班ごとに毎朝^{そっせん}率先してあいさつをする「あいさつ運動」が、目標も明確となつてよいのではと考えています。(百四十六字)

② P. 15

問一 エ

問2 (例一) 質問ではなく、意見を言ってください。(。)

(例2) 今の発言は、質問ですね。質問の時間は、あとでとりまします。(。)

※ 村山さんの発言が質問であることを指摘していればおおむね満足、質問はあとで取り上げるといふことにまで言及していれば、十分満足な状況とする。

③ P. 16

問一 (例) 三つ目の信号の近くには、どんな目印があるのかという(こ
とについて。)

問2 父

問3 先生と話す場合 (例) 楽しみにしていると申しおりました

お父さんと話す場合 (例) 楽しみにしているとおっしゃって
いたわ

④ P. 17

問一 (例) その活動には、必ず参加しなければならないのですか。(。)

問2 (例一) 重要なことをプリントにまとめて配布すること。

(例2) 伝えたいことをあらかじめ板書などでまとめておくこと。

問3 (例一) どんな服装をしていけばよいですか。

(例2) 昆虫^{こんちゅう}の写真をとるために、カメラを持参してもかまいませんか。

※ テーマに関係ある(ふさわしい)質問内容であれば正答とする。

【書くこと】

5 P. 18

問1 エ

問2 (例) 「覚えやすい。」「心まできれいになるという主張がよい。」
といった意見です。(○) (三十五字)

6 P. 19

問1 電気の使用

問2 その結果、

問3 (例) (このように) エコ活動は難しいことではない。自分でできるエコ活動はいろいろとあるので、みんなもできることから始めてみよう。

7 P. 20

問1 (例) 言葉づかいに気をつかっている人がハ割近くいるのに、「言葉が乱れている」と思う人もハ割近くいるから。

問2 (例) 言葉づかいに気をつかう人が増えたために、周りの人の言葉に敏感びんかんになった人が多い (三十八字)

8 P. 21

問1 敬具

問2 いただきました

問3 おみやげに

問4 (例) 来年の夏休みもお世話になりたいと思っっているのですが、ご都合はいかがでしょうか。

9 P. 22

問1 A ア B エ C イ

問2 (例) 冷血動物として夜を過ごすことで、エネルギーの消費を少なくするから。(三十三字)

10 P. 23

問1 2 ウ 3 ア 4 イ

問2 (例) 木を割らずに釘くぎの役割をきちんと果たしている、木に優しい釘。(二十九字)

※「木を割らない」「釘の役割を果たす」「木に優しい」という三つの要素をふまえて書かれていれば、十分満足な状況とする。

11 P. 24

問1 倒置法とうちほう

問2 B 紙風船 C (美しい) 願いごと

問3 (例) 美しい願いごとがすぐにはかなわなかったとしても、あきらめずに何度でも願い続けようということ。(四十六字)

12 P. 25

問1 (例) 「私」が行っている書き物という作業に対して、干渉かんしやうせず、敬意を払はらっている様子。

問2 (例) 万年筆が壊こわれたと思いきや、二度と書き物という作業ができなくなるのではないかとあわてる気持ち。(四十七字)



福岡県教育委員会